

2017 年度年次大会 会長報告

2018 年 8 月 25 日（土曜日）

於：富豪香港酒店聚賢廳

会長挨拶

香港日本語教育研究会会長
梁 安玉

会員の皆様

香港日本語教育研究会は 1978 年に香港における日本語教育関係者の親睦・情報交換を目的として創立され、2007 年 9 月に香港政府より非営利団体 NPO 法人として認められました。以来、皆様のご指導とご鞭撻により、香港内のみならず、世界各国、地域との日本語教育・日本研究の教育関係者・研究者の方々との学術・教育交流を進めると共に、香港における日本語教育の普及と促進に力を注ぎ、様々な活動を展開してまいりました。

これまで、在香港日本国総領事館をはじめ、現地日本関係各団体及び機関、会員の皆様、先輩方のただならぬご支援のおかげを持ちまして、2018 年に当研究会は創立四十周年を迎えることができました。心より御礼を申し上げます。

なお、各団体及び関係者の皆様より、お祝いのお言葉を多く頂戴いたしましたこと、大変光栄に存じます。皆様のお言葉を肝に銘じ、今後の研究会の発展に新たな原動力となるよう一層精進してまいりたい所存でございます。

さて、2017 年度における当研究会の活動でございますが、まず、より多くの日本語学習者と日本に興味を持つ若者に気軽に楽しく日本語、日本の伝統文化と遊びを体験していただくために、2017 年度に初めて日本学園文化祭を開催いたしました。来場者数は 812 名にもものぼりました。この学園文化祭の開催に当りまして、数多くの団体の皆様の暖かいご支援を賜りましたこと、厚く御礼を申し上げます。

さらに、年少者のための日本語教育の普及、促進を目的といたしました「香港小中高生日本語スピーチコンテスト」が第 13 回目を迎えました。厳しい予選を経て、応募者の中から、小学生の「詩の朗読」、中高生の「詩の朗読」、中高生の「朗読劇」、高校生のスピーチの 4 部門に合計 49 名の出場者が選出されました。出場者はそれぞれ印象的なパフォーマンスを披露し、来場者に大きな感銘を与えました。

そして、年少の日本語学習者の学習意欲を高めるために 2011 年に設立した日本語成績優秀者への奨学金と日本研究関係のプロジェクト賞は、2017 年 9 月に第 7 回目の授与式を行いました。高校の日本語成績優秀者 5 名に奨学金を、8 名にプロジェクト賞を授与いたしました。また、副学士課程の日本語成績優秀者 5 名に奨学金を、11 名にプロジェクト賞を授与いたしました。

また、現地日本語教師の要望に応えるため、国際交流基金海外派遣日本語専門家であいらっしやる山下直子先生のご協力を得て日本語教育のワークショップおよび日本語教師セミナーを開催し、好評を博しました。

更に、海外との交流においては、香港日本語教育研究会は、「日本語教育グローバルネットワーク」の一員として、日本、中国、韓国、台湾、アメリカ合衆国、豪州、欧州、カナダ、ニュージーランド、インドネシアの各国の日本語教育の専門家や研究者の方々との交流に努めております。今後の香港における日本語教育の更なる発展と促進に力の限り尽力いたします所存でございます。

最後になりますが、この場をお借りしまして、今一度、在香港日本国総領事館、国際交流基金、及び会員の皆様方の温かいご支援、ご協力に心より御礼を申し上げます。なお、2017 年の研究会の業務が順調に運ばれましたことは、理事、各委員会の委員、事務所の職員の尽力のおかげと、心より感謝いたします。

香港の日本語教育の普及と促進がますます繰り上げられますことを心より期待し、そして、世界各地との学術及び教育の交流、世界的な視野を持つ香港の日本語教育の更なる普及と振興に貢献できましたら幸いです。今後とも、引き続き、変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以下、2017 年度(2017 年 1 月 1 日～12 月 31 日)の当研究会の活動報告をまとめました。

- 1 月 21 日～2 月 25 日、日本語教師研修セミナー（4 技能編）を開催しました。参加者総数：21 名。
- 3 月 25 日及び 26 日、「日本語教育の普及と持続—初、中等日本語教育における理論と実践」の講演会及びワークショップを主催しました。協賛団体は国際交流基金 JF にほんごネットワークで、会場協賛は香港城市大学亜州及国際学系でした。内容は以下の通りです。

【講演会】

- ①「モチベーションとアドボカシー—最近の理論的展開から、実戦への示唆—」
トムソン 木下 千尋 先生（ニューサウスウェールズ大学教授）

②「子どもの書く力を高める指導を考える―日本在住外国人児童の作文力調査から―」

齋藤 ひろみ 先生（東京学芸大学教授）、菅原 雅枝 先生（東京学芸大学准教授）

【ワークショップ】

①「モチベーションを上げる活動、アドボカシー活動」

トムソン 木下 千尋 先生（ニューサウスウェールズ大学教授）

②「日本語で自分を表現する―社会参加のための書く活動―」

齋藤 ひろみ 先生（東京学芸大学教授）、菅原 雅枝 先生（東京学芸大学准教授）

- 4月1日～5月6日、日本語教師研修セミナー（レベル別編）を開催しました。参加者総数：24名。
- 5月7日、第13回香港小中高生日本語スピーチコンテストを開催しました。
 - ◎ 会場：香港浸会大学附属学校王錦輝中小学
 - ◎ 出場者数：暗誦の部（小学生）10名、暗誦の部（中/高生）10名、朗読劇の部（中学生）5チーム、スピーチの部（高校生）8名、出場者総数：49名。
- 5月7日、日本学園文化祭を開催しました。
 - ◎ 会場：香港浸会大学附属学校王錦輝中小学
 - ◎ 来場者数：812名。
- 5月13日～7月22日、日本語教師研修セミナー（テーマ別編）を開催しました。参加者総数：15名。
- 6月25日、2017年第1回日本語能力試験(N3、N4及びN5級)模擬試験を実施しました。応募者数：750名。
- 7月2日、2017年第1回日本語能力試験(N1～N5級)を実施しました。応募者数：6,672名。
- 7月8日、副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究関係のプロジェクト賞候補者の面接を実施しました。
- 7月29日、香港日本語教育研究会第九回総会を開催しました。
- 7月、『日本学刊』第20号を出版し、総会で会員へ配布し、香港及び海外の日本語関係機関に郵送にて送付しました。
- 8月5日、高校の日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究関係のプロジェクト賞の候補者の面接を実施しました。
- 9日～10月21日、日本語教師研修セミナー（実習篇）を開催しました。参加者総数：5名。
- 9月30日、高校及び副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金ならびに日本研究関係のプロジェクト賞の授賞式を開催しました。

- 11月4日、「香港日本語教師研修会 特別セミナー」を開催しました。共催団体は国際交流基金北京日本文化センターで、会場協賛は香港城市大学亜洲及国際学系でした。内容は以下の通りです。

テーマ：「指導方法とフィードバックを考える—作文と音声—」

【講演会及びワークショップ I】

講師：藤井 舞 先生（国際交流基金北京日本文化センター 日本語専門家）

タイトル：「日本語教育のスタンダードのレベルに基づく作文（意見文）の教え方とそのフィードバック方法」

【講演会及びワークショップ II】

講師：王 伸子 教授（専修大学）、大塚 明子 先生（専修大学 ナレーター /ライター）

タイトル：『『ボイスサンプル』を応用した日本語音声指導』

- 11月19日、香港地域における2017年第2回日本語能力試験(N4及びN5)模擬試験を実施しました。応募者数：500名。
- 12月、『読んで考えて日本文化』を発行、香港の中学校や中等日本語教育に関わる機関に郵送にて送付しました。
- 12月3日、2017年第2回日本語能力試験(N1～N5級)実施しました。応募者数：7,563名。
- 2017年度の香港における日本語能力試験実施は2回。受験応募者総数：14,235名。
- 12月9日～2018年5月26日、集中日本語教師研修セミナーを開催しました。参加者総数：14名。

【理事会】

毎月定例理事会を開催、理事による審議・討論を経て、会の運営等について決定しました。

2017年度は計12回の会議を実施しました。

【月例会】

毎月第2土曜日(2時～4時)に、当研究会事務所のホールにて、講演、ワークショップ、フォーラムなどの形式で実施しました。

講師—香港で高等教育、中等教育、日本関係研究に携わっていらっしゃる方々。

2017年度は計3回開催し、参加者平均25名。

以上